

「次期国有財産総合情報管理システムに係るハードウェア等機器賃貸借 調達仕様書(案)」に対する意見招請の結果について

項番	該当箇所				意見内容		修正有無	回答
	対象	頁	項目番号	該当部分	修正案	理由・質問		
1	調達仕様書(案)別紙2	62	1.1.6	1.1.6 BC環境ハードウェア要件 (3) ネットワーク機器要件 ①コア Firewall ・SSLアクセラレータ機能 SSLアクセラレータ機能を有し、2,000tpsの処理が可能であること。	-	FWの性能目安にTPSと記載がありますが、スループット値(Gbps等)では、一般的にbpsで表記するため、単位をTPSからbpsへ変更をお願いします。	-	2,000tpsはSSLアクセラレータ機能の性能値となるため、単位は処理件数のTPSで記載しています。
2	調達仕様書(案)	14	4.5	4.5 開発・テスト 受託者が納入したソフトウェア等に起因するトラブル・障害(アプリケーションとの非互換)が発生した場合は、アプリケーションの修正、変更し受託者の責任において対応後、システム設計開発事業者に引継ぎを実施すること。	-	「アプリケーションの修正、変更」や「システム設計開発事業者に引継ぎ」の実施期限は総合テスト期間までという認識でよろしいでしょうか。	○	ご認識のとおりです。ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 【修正後】 受託者が納入したソフトウェア等に起因するトラブル・障害(アプリケーションとの非互換)が発生した場合は、総合テスト工程内においてアプリケーションの修正、変更し受託者の責任において対応後、総合テスト工程内にシステム設計開発事業者に引継ぎを実施すること。
3	調達仕様書(案)	15	4.10	4.10 定例会等の実施 (1) 受託者は、定例会を開催するとともに、業務の進捗状況やリスク管理状況を作業実施要領に基づき報告すること。定例会の開催頻度については隔週を想定しているが、受託後協議の上決定することとする。	-	定例会の実施は次期システム稼働までという理解で相違ないでしょうか。	○	ご認識のとおりです。ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 【修正後】 (1)受託者は、次期システム稼働までの間、定例会を開催するとともに、業務の進捗状況やリスク管理状況を作業実施要領に基づき報告すること。定例会の開催頻度については隔週を想定しているが、受託後協議の上決定することとする。
4	調達仕様書(案)	16	4.12	4.12 成果物 作成に当たっては、今後の省庁追加・改編成時のコスト削減を目的とし、設計書の改修箇所・プログラム修正箇所・付帯作業箇所・工数実績等を以下に記載する成果物に含めること。	-	当該記載が指し示すのは、システム設計開発事業者が作成した資産等を改版する場合という理解で相違ないでしょうか。	-	システム設計開発事業者に限定しておりません。財務省が保有している資産が対象となります。
5	調達仕様書(案)	17	4.12.1	4.12.1 成果物名 内容 受託に係る全ての作業完了の報告	-	「受託に係る全ての作業」は稼働終了後の撤去までと認識しています。 12月末の納品となれば、次期システム稼働までの作業が対象という理解で相違ないでしょうか。	○	ご認識のとおりです。ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 【修正後】 次期システム稼働までの作業に係る完了の報告
6	調達仕様書(案)別紙1	11	1.3	1.3 非機能要件 提案する機器が満たすべき非機能要件を以下に示す。要件を満たすために機器を追加する場合や、提案する機器にカスタマイズ等を施す必要がある場合にも本要件を満たす必要があることに注意すること。その場合には、財務省、本調達の受託者、システム設計開発事業者の3者で協議すること。	-	非機能要件を満たすべきは「納入したソフトウェア等に起因するトラブル・障害(アプリケーションとの非互換)」への対応をする場合も含まれるという理解で相違ないでしょうか。	-	納入したソフトウェア等に起因するトラブル・障害(アプリケーションとの非互換)は、非機能要件に限らず、調達要件を満たしていないということであり、不適合責任の対象となります。
7	調達仕様書(案)別紙1	13	1.3.2	1.3.2 システム方式に関する事項 (1)情報システムの構成に関する全体の方針 No7 ただし、それらのOSS製品のサポートが確実に継続されていることを確認しなければならない。	-	OSS製品はライフサイクルが短く、稼働期間中の同一バージョンでサポートが継続されるということは難しい認識です。よって、事業者としては、リリース時点では新しいバージョンが継続して発表されていることまでしか確認できない認識です。また、OSSのサポート継続は事業者によるバージョンアップ前提のものと理解しています。	○	ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 【修正後】 ただし、製品の選定にあたっては、調達仕様書3を参照すること。
8	調達仕様書(案)別紙1	26	1.3.13	1.3.13 移行に関する事項 (1)移行支援 移行リハーサルを実施する場合には、支援すること。	-	当該支援は現地での実施となりますでしょうか。	○	ご認識のとおりです。ご指摘を踏まえ、以下のように修正します。 【修正後】 移行リハーサルを実施する場合には、オンサイトで支援すること。

「次期国有財産総合情報管理システムに係るハードウェア等機器賃貸借 調達仕様書(案)」に対する意見書によらない修正箇所一覧

項番	該当箇所				修正回答
	対象	頁	項目番号	該当部分	
1	調達仕様書 (案)	15	4.9	(修正前) 契約満了時の作業 (修正後) 機器撤去・データ消去	目次を変更しました。 また、データ消去について、機器保守時の対応を含む旨記載しました。 (修正後) 本調達にて納入した機器等に保存されているデータについては、受託者の責任において、財務省の指定する場所にて速やかに抹消作業を実施すること(機器保守時の対応を含む)。抹消方法については、最適な方法を提案すること。また、作業完了報告書(抹消証明書)を提出し、財務省の承認を得ること。
2	調達仕様書 (案) 別紙1	22	1.3.11(3)	ネットワーク構成図	構成図に本省庁舎を追加しました。
3	調達仕様書 (案) 別紙1	23	1.3.11(4) ②	電源条件	下記内容を追加しました。 分電盤には、通信事業者用に100Vを1回線準備すること。
4	調達仕様書 (案) 別紙2	75	1.2.2(11)	入室管理ソフトウェア	エクステン드가不要と判明したため、下記の通り修正しました。 (修正前) 移行開発事業者にてPalmSecure AuthGate 3000、Stronguardベーシック/エクステンドを使用して実現することを想定している。PalmSecure AuthGate 3000、Stronguardベーシック/エクステンドと同等以上の機能を満たすものであること。 (修正後) 移行開発事業者にてPalmSecure AuthGate 3000、Stronguardベーシックを使用して実現することを想定している。PalmSecure AuthGate 3000、Stronguardベーシックと同等以上の機能を満たすものであること。
5	調達仕様書 (案) 別紙4	-		搬入・工事	以下のとおり修正しました。 (修正前) 搬入・工事(近畿/4号館) (修正後) 搬入・工事(大阪市内/千代田区内)